平成 25 年度 第 108 委員会活動結果報告書

第 108 委員会事務局 JBMIA

1. 第108委員会(オーディオ・ビデオ及び情報技術機器の安全性)

1-1. 活動概要(全体) 委員長 羽鳥 光俊

1-2. MT1 分科会活動概要 主査 塩田 武彦

1-3. MT2 分科会活動概要 主査 柴田 恵

1-4. HBS 分科会活動概要 主査 近藤 孝彦

1-5. JIS C 6065 改正原案作成活動概要 主査 山本 久義

1-6. JIS C 6950-1 改正原案作成活動概要 主査 柴田 恵

1-7. JIS C 62368-1 原案作成活動概要 主査 塩田 武彦

1-8. その他 Ad Hoc 委員会活動 副委員長 佐藤 幸一

(参考1) 国際規格回答原案等リスト

(参考2) 国際会議出席者リスト

(参考3) 関連国際規格の現状と今後の計画(見通し)

1. 第108委員会(オーディオ・ビデオ及び情報技術機器の安全性)

委員長 羽鳥 光俊

1-1. 活動概要(全体)

平成 25 年度は、8 件の国際規格回答原案等について審議を行った。主な内容は、(1) に示すとおりである。 なお、国内規格については、IEC 62368-1 初版対応ならびにその後の IEC 62368-1 第 2 版審議の内容を睨みながら JIS 原案作成検討の活動を行なった。 MT1 分科会、 MT2 分科会、HBS 分科会、及び JIS 原案作成検討会の詳細は、各分科会活動概要の項参照。

(1) 国際規格対応について

平成 25 年度は、TC108 から発行される審議文書について、下記 8 件の投票を行った。 尚、リチウムイオン電池、音圧規制等については専門家との意見交換を行い、日本意見 への展開を図った。

詳細は、添付資料"(参考1) 平成25年度国際規格回答原案等リスト"参照。

又、平成 26 年 5 月に開催される国際会議に向けて、各分科会で TC108 の審議文章を審議中である。

NP (New Work Item Proposal): 1 件
CD (Committee draft for comment): 0 件
DC (Document for Comments): 2 件
CDV (Committee Draft for Vote): 0 件
FDIS (Final Draft International Standard): 2 件
DTR (Draft Technical Report): 0 件
Q (Questionnaire): 3 件

(2) 国内規格対応について

1) IEC 整合 JIS 原案の審議

JIS 原案作成検討グループ及び JIS 原案作成委員会を開催して改正原案の審議を行った。

- JIS C 6065: オーディオ、ビデオ及び類似の電子機器-安全性要求事項
 改正 JIS C6065 (IEC 60065 Ed.7+Amd.1+Amd.2 対応)が3月に官報告示された。
- IEC 62368-1 対応 JIS: オーディオ、ビデオ、情報及び通信技術機器-第1部: 安全性要求事項

平成 26 年度の完成を目標に IEC 62368-1 初版および改訂版の Draft (TC108/455/DC 文書) 等を審議した。

2) 電気用品安全法技術基準に関する整合規格の審議

JIS C 6950-1:2012, JIS C 6065:2013 の整合性を審議した。

1-2. MT1 分科会活動概要

主査 塩田 武彦

旧 TC92 が扱っていた規格、IEC 60065 『オーディオ、ビデオ及び類似の電子機器 - 安全性要求』の改訂提案プロジェクトを扱う IEC/TC108 のメンテナンスチーム 1 (MT1) に対応する国内委員会として、下記の審議を行った。

(1) 国際規格対応について

IEC 60065 第 8 版の FDIS 文書に対し、日本から賛成投票を行った。また、分科会を HBS 分科会と合同で 1 回開催し、MT1 にも関連する文書の審議を行うとともに、11 月に TC108/MT1 ドイツシュトゥットガルト会議に参加し、日本意見の反映を行った。

文書番号	表題及び概要	日本意見概要
108/517/NP	(HBS分科会と合同審議:詳細はHBS分科会の項参照)	-
~	,,,	賛成投票。
S	apparatus – Safety requirements	
	IEC 60065 第8版 FDIS	
108/530/DC	(HBS分科会と合同審議:詳細はHBS分科会の項参照)	-

(2) 国内規格対応について

MT1分科会では、取り扱わなかった。

(3) 今後の主要課題

平成 26 年度は、IEC/TS 62441 の IS 化の為の CDV についての発行及び検討が行われ、その後 IS が発行される予定であるため、その対応及び、国内での規格の審議と国際会議への参加を継続する。

(4) 平成26年度国際会議予定

- ・MT1 米国/サンタクララ (H26.5)
- ・MT1 日本/東京(H26.11)

1-3. MT2 分科会活動概要

主査 柴田 恵

旧 TC74 が扱っていた規格、IEC 60950『IT 機器の安全』パート1 (一般要求)及びパート2 (個別要求)の改定提案プロジェクトを扱う IEC/TC108 のメンテナンスチーム 2 (MT2) に対応する国内委員会として、下記の審議を行った。

(1) 国際規格対応について

平成 25 年度は、IEC 60950 Part 2 の審議のために、ドイツ/シュトゥットガルト(2013 年 11 月)で開催された TC108/MT2 会議へ参加し、日本意見の反映を行った。

審議した文書と日本意見の概要は、下表の通り。

文書番号	表題及び概要	日本意見概要
108/525/Q	Questions from TC108 Secretary regarding revision of	賛成
	IEC 60950-22, Information technology equipment -	コメント無し
	Safety - Part 22: Equipment to be installed outdoors	
	屋外に設置する機器に対する規格IEC60950-22の第2版の	
	作業を継続するか等に関する質問	
108/530/DC	(HBS分科会と合同審議:詳細はHBS分科会の項参照)	
108/534/	(同上)	
108/537/CD	IEC 60950-22/Ed2: Information technology equipment	設置カテゴリ等に
	- Safety - Part 22: Equipment to be installed outdoors	ついて計5件のコ
	シュトゥットガルト会議での審議結果を反映した、IEC	メント提出
	60950-22第2版案	

(2) 国内規格対応について

MT2分科会では、取り扱わなかった。

(3) 今後の主要課題

今後は IEC60950 Part 2 の改訂作業が実施される。国内での審議と国際会議への参加を継続する。

(4) 平成26年度国際会議予定

- ・MT2 米国/サンタクララ (H26.5)
- ·MT2 日本/東京(H26.11)

1-4. HBS 分科会活動概要

主査 近藤 孝彦

将来IEC 60950-1及びIEC 60065 から移行される予定となっている規格IEC 62368-1 『オーディオ・ビデオ、情報及び通信技術機器 - パート1:安全性要求』の規格開発を扱うIEC/TC108/HBSDT に対応する国内委員会として、次の審議を行った。

(1) 国際会議&審議状況

平成 25 年度は、IEC 62368-1 Ed.2 以降のバージョンにおいて改訂すべき事項を審議するため、分科会を 2 回開催し、関連文書の審議を行うとともに、ドイツ・シュトゥットガルト (2013 年 11 月) にて開催された TC108/HBSDT 会議へ参加し、日本意見の反映を行った。

審議した文書と日本意見の概要は、下表の通り。

田明し	た文書と日本意見の概要は、下表の通り。	
文書番号	表題及び概要	日本意見概要
	IEC 6XXXX/Ed1: Audio, video and information	賛成。ただし日本
	technology equipment - Routine electrical safety	の電圧に対応した
	testing in production	内容を含めるべき
	「製造中における電気安全ルーチン試験」の要求事項の規	
	格作成をして良いかを問う投票案件。	トを提出。
	TC108 proposal for revision of IEC/TR 62368-2, Ed 1,	賛成。ただし、リ
	Audio/video, information and communication	チウムイオン電池
	technology equipment - Part 2: Explanatory	に関連した要求事
	information related to IEC 62368-1 (based on proposed	
	text of future IEC 62368 1, Ed 2 FDIS)	れていなかったこ
	IEC 62368-1 Ed 2.0に対する説明情報で、要求事項の根拠 を示したもの(IEC 62368 1, Ed 2 FDISとなる予定の	とに対りる修正徒 案など、11件のコ
	をかしたもの (IEC 62508 1, Ed 2 FDISとなる) たの 108/495/CDVをベースにしたもの) であり、各国の意見を	
	聞くための文書。	
	TC108 question to National Committees regarding	「改訂して良い」
	revision of IEC 62368-2-TR/Ed1: Audio/video,	と回答。
	information and communication technology equipment	
	- Part 2: Explanatory information related to IEC	
	62368-1 IEC 62368-1が改定される都度、IEC/TR 62368-2を改定	
	して良いかを問う文書。	
108/521/FDI	IEC 62368-1/Ed2:Audio/video, information and	賛成投票
	communication technology equipment - Part 1: Safety	其 /人汉赤
	requirements	
	IEC 62368-1 Ed 2.0をISとして良いかを問う投票案件。	
	Secretariat proposal for IEC 62911, Audio, video and	賛成。ただし、DC
	information technology equipment - Routine electrical	主電源機器に対す
	safety testing in production	る試験電圧などの
	「製造中における電気安全ルーチン試験」の要求事項の作	修正など、5件のコ
	成に関する、108/517/NPが可決されたことをうけ、その	メントを提出。
	内容に関して各国の意見を聞くための文書。	
108/532/DC	TC108 WG/HBSDT proposal for IEC 62368-1	賛成。ただし、液
	regarding liquid insulation	体の汚損について
	液体に浸すことにより冷却するシステムに対する要求で、	のコメント(1件)
	各国に意見を聞くための文書。	を提出。
	TC108 WG/HBSDT proposals for IEC 62368-1 as	賛成。ただし、エ
	agreed in the Stuttgart meeting	ナメル線の扱いな
	シュトゥットガルト会議において審議された、IEC	どに関する変更な
	62368-1 Ed.2 以降のバージョンにおいて、改定すべき事	ど6件のコメント
	項について、各国に意見を聞くための文書。	を提出。
108/534/DC	TC108/WG 5 proposal for revision of IEC 60990, Ed3,	賛成。ただし、規
	Methods of measurement of touch current and	格の安定期間及び
	protective conductor current	編集上の修正(2
	接触電流及び予想接触電圧の測定に関する規格である	件) のコメントを
	IEC60990 に対する改訂提案で、各国に意見を聞くため	提出。
	の文書。	(TC108/WG5)Z
		対応した分科会が
		第108委員会には
		無いため、HBS分
		科会にて取り扱っ
		た。)

(2) 国内規格対応について

HBS分科会では取り扱わなかった。

(3) 今後の主要課題

IEC 62368-1 第 2 版の FDIS (108/521/FDIS) は可決されたが、次のバージョンにおいて改訂すべき事項があり、HBS 分科会で意見を纏め国際会議において積極的に提案を行うとともに、他国からの意見に対しても意見具申を行なう。

「製造中における電気安全ルーチン試験」の要求事項の作成に対する NP が可決された。今後、分科会で審議を行い、日本の意見を反映させる。

接触電流及び予想接触電圧の測定に関する規格である IEC 60990 に対する改訂提案の文書が発行されており、HBS 分科会において審議し、意見具申を行う。

(4) 平成 26 年度国際会議予定

- ・HBSDT 米国/カリフォルニア・ベイエリア(H26.5)
- ・HBSDT 日本/東京 (H26.11)

1-5. JIS C 6065 改正原案作成活動概要

主査 山本 久義

(1) 概要

平成 25 年 3 月の改正 JIS の官報告示をもって完了した「IEC 60065 Ed.7 Amd.2」に対応する「JISC6065:2013」は、今後、電気用品安全法技術基準に関する整合規格に採用される見込みである。

(2) 今後の主要課題

TC108 で審議が進められていた「IEC 60065 Ed.8」が、2014 年 6 月に IS として発行 予定。この版に対応する「JIS C6065 改正原案」の作成に取り組む。

1-6. JIS C 6950-1 改正原案作成活動概要

主査 柴田 恵

(1) 概要

9月に経産省及び総務省を訪問し、改正原案の内容を説明した。また、11月にはJSA 規格審査課のコメントに対応した。平成26年7月に官報告示見込み。

(2) 今後の主要課題

IEC 60950-1 の修正 No.2 が発行されたので、修正 No.2 の内容も含み、JIS C6950-1 の全面改訂に取り組む。

主査 塩田 武彦

1-7. JIS C 62368-1 原案作成活動概要

(1) 概要

オーディオ/ビデオ、及び情報/通信機器の新安全規格 IEC 62368-1 Ed.1 (平成 22 年 1 月に IEC 規格として発行) 改訂版 IEC 62368-1 Ed.2 (平成 26 年に IEC 規格制定予定) に対して、JIS 原案を作成・提出する為、WG で活動を行った。平成 25 年度は、月に 1 回の検討会を実施して、日本デビエーションの検討、JEITA 部品安全専門委員会との意見交換及び TC108/521/FDIS ベースの JIS 原案見直し等、審議を 12 回行った。

スケジュール:原案作成 : 平成26年6月予定

最終案完了·提出: 平成 26 年 9 月予定

(2) 今後の主要課題

当初の予定より、3ヶ月程度検討が遅れているが、技術的な審議はほぼ終わっている ため、時間管理をしっかり行い、予定通りに完了させるように進めていく。

1-8. その他 Ad Hoc 委員会活動

副委員長 佐藤 幸一

● リチウムイオン電池使用機器の安全要求検討 (主査:原田) 2013年11月にIEC 62368-1第2版のFDIS文書(108/521/FDIS)が発行され、 2014年1月に承認された。

附属書 M-タスクフォース(国内 HBS 分科会傘下、2011 年設立)にて提案を実施した「附属書 M の電池を含む機器の落下試験」の基本提案をもとに、2013 年 3 月バンコク会議において提案した M4.4 章に落下試験手順の明確化が、5 月の EdCom委員会で採択された。この結果、日本提案を 11 月発行の 108/521/FDIS に盛り込むことができた。

また、2013 年 10 月に附属書 M-TF 委員会(東京)を開催し、IEC/TR 62368-2 のための DC 文書(108/518/DC)に対するコメント審議を実施し 11 月のシュトゥットガルト会議へ 10 件のコメントを提出した。この結果、全てのコメントを EdCom 委員会へ提案することができ、2014 年 2 月に発行された IEC/TR 62368-2 の DTR 文書(108/540/DTR)に日本提案を盛り込むことができた。

以上